

最終講義

形から細胞の機能を考える

村田 長 芳

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科運動機能修復学講座
細胞生物構造学研究分野
(原稿受付 平成17年8月4日)

1. はじめに

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科関係の皆さん、鹿児島大学の他学部の皆さん、名誉教授の皆さん、医学部、歯学部の学生の皆さん、職員の皆さん、同窓会、同門会の皆さん等をお迎えして最終講義が出来ます事を大変嬉しく存じますし、またこのような最終講義の機会をお作り頂いた関係者の皆さんにお礼申し上げます。

2. 講義の構成

今日の最終講義の構成を①光学顕微鏡から電子顕微鏡まで、②複合糖質組織化学との出会い、③形としてのゴルジ装置とゴルジ装置の機能、④凍結標本を中心に壁細胞の形と機能を考える、⑤最終講義の締めくくりに別けてお話ししたいと思います。

3. 光学顕微鏡から電子顕微鏡まで

今日は学部の学生さんもこの最終講義を聞きにたくさん来て来てくれています。私自身これまで光学顕微鏡と電子



顕微鏡を使って研究をして来ました。特に電子顕微鏡に関しては医学部共同利用研の形態部門の室長を任せられ、小生のみならず、教室の共同研究者が皆電子顕微鏡を用いて研究して参りました。

まず、最初に光学顕微鏡、電子顕微鏡が形態学の研究機器として出現せねばならなかった必然性からお話したいと思います。この講義の導入のスライドには当時の医学部の予算と鶴陵会のご援助も得て購入し、現在も共同

筆者のプロフィール



- ◆昭和14年7月 長野県北佐久郡北御牧村（現東御市）に生まれる
- ◆昭和34年3月 信州大学医学部医学科入学（昭和40年3月卒業）
- ◆昭和41年4月 信州大学大学院医学研究科入学（解剖学専攻）、単位取得退学（昭和45年3月）
- ◆昭和45年4月 信州大学医学部助手に採用（医学科解剖学第一講座）
- ◆昭和49年1月 信州大学医学部講師に昇任（解剖学第一講座）
- ◆昭和49年5月 信州大学医学部助教授に昇任（解剖学第一講座）
- ◆昭和53年10月 鹿児島大学医学部教授に昇任（医学科解剖学第二講座）
- ◆平成3年7月 鹿児島大学評議員（～平成5年6月）
- ◆平成13年4月 鹿児島大学機器分析センター長（～平成15年3月）
- ◆平成15年8月 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授に配置換（細胞生物構造学分野）
- ◆平成17年3月 鹿児島大学を定年退職
- ◆平成17年4月 鹿児島大学名誉教授

